

Hattori Racing Enterprises 2018 NASCAR Camping World Truck Series 第7戦<決勝>

ブレット・モフィット：ステージ1で優勝、ステージ2は3位。最終ステージでは22位に後退するも4位フィニッシュ。ランキングは3位に上昇。

2018年5月18日(金)20:30pm

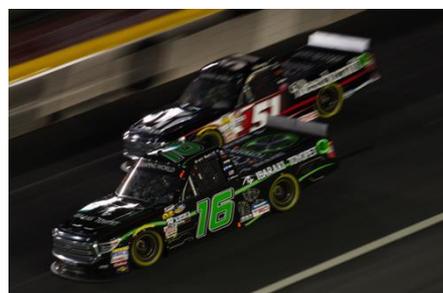
Hattori Racing Enterprises (HRE)は「茨城トヨペット株式会社」の支援を受け、Car No. 16「IBARAKI TOYOPET TOYOTA TUNDRA」でCamping World Truck Series 第7戦に参戦した。ピットインのタイミングが合わず一時は22位に後退したものの、その後のブレットの粘り強い走りと安定したハンドリングで、今季4回目のトップ5、シリーズランキングは6位から一気に3位までアップした。



NASCAR Camping World Truck Series 第7戦



North Carolina Education Lottery 200
Charlotte Motor Speedway
134周 201 miles (321km)
第1・第2ステージ：30周
最終ステージ：74周



CAR#	ドライバー	予選	決勝	ランキング
16	Brett Moffitt	6位	4位	3位

5月18日(金) ノースカロライナ州・Charlotte Motor SpeedwayでNASCAR Camping World Truck Series 第7戦「North Carolina Education Lottery 200」が開催された。

決勝の舞台となったCharlotte Motor Speedwayは、NASCARの総本山・シャーロットにある1周1.5マイル(約2.4km)のクアッド・オーバル(Quad-oval=四角い楕円形)コース。ターンには最大24度、ストレートにも5度のバンク角がつき、1周をフルスロットルで駆け抜けることができるNASCAR屈指の高速オーバルコースである。予選速度は約184マイル(約296km/h)にも達し、1周をわずか29秒で駆け抜ける。

今回のレースのスポンサーである茨城トヨペット株式会社は、茨城県水戸市に本社を置くトヨタ販売店。茨城県内にトヨタ・LEXUSの38店舗を展開し、700人超の従業員を擁するトヨタディーラー。創業は1956年で、長きにわたり地域に密着した企業である。また、2014年より「IBARAKI TOYOPET RACING TEAM」としてTOYOTA GAZOO Racing 86/BRZ Raceに参戦、会社全体でモータースポーツを盛り上げている。

5月11日(金)朝から行われたフリー走行は、悪天候が予想されるなかでもギリギリ実施された。走行開始すぐに右フロントタイヤのパンクに見舞われたが何とかクラッシュを避け、1回目は9位、2回目は16位で終えた。フリー走行終了後、心配していた天候が悪化、降り出した雨が止むことはなく、同日夕方から予定されていた予選は中止となり、NASCARのルールによりオーナーズポイントの順位がそのまま適用されブレットは6位で決勝を迎えることとなった。

引き続き心配された天候も何とか回復した同日20:30、予定どおり決勝レースがスタート、ブレットは3列目アウトコースから、スタートダッシュを決めるべくアクセル全開で前方の集団を追って行く。まずは1周目、ブレットはポジションを5位にアップ、そこから更に2台をパスし、3周目、3位にポジションアップさせた。後続のマシンは3ワイド、4ワイドになりながらブレットを含むトップ集団を猛追してくるが、ブレットはトップと同等のタイムで安定した走りを見せ、21周目にこの日最初のイエローコーションとなるまで3位をキープ。ピットインしたブレットにチームは4本のタイヤ交換、燃料補給、空気圧の調整を行い、残りの第1ステージが4位、2列目アウトコースからリスタート。ブレットは一気にマシンを加速させトップに躍り出て、残り3周そのままトップを守り、今シーズン初めて第1ステージを制した。

クルーチーフのスコットは、ポジションキープのためそのままコースに残ることを指示、38周目、第2ステージがスタート。ブレットは中盤までトップをキープ、その後数回のトップ交代があり、3位に後退したものの終始安定したハンドリングで第2ステージは3位で終了。

ピットインした#16にチームは4本のタイヤ交換と燃料補給、空気圧の調整と若干のマシン調整を行い、ブレットをコースに送り出す。68周目、クルーの素早い作業によりピットでポジションを上げ、トップから最終ステージがスタート。ここから今季2勝を挙げている#21 Johnny Sauterと激しいトップ争いを繰り広げる。81周目、イエローコーションとなったが、ここでチームはブレットにコースに残ることを指示。後に、これが勝負の明暗を分けてしまう。86周目、リスタート後、わずか5周で再度イエローコーションとなった。チームはここで作戦を切り替えブレットにピットインの指示を出し、4本のタイヤ交換、燃料補給を行い、順位が22位まで後退してしまう。しかしマシンには素晴らしいスピードがあり、新品タイヤを履いたブレットはそこから諦めず徐々に順位を上げて行った。レース終盤の113周目、この日最後のイエローコーション状態となり、リスタートのチャンスが訪れた。118周目、9位からリスタートしたブレットは次々に他車をパスして行き、残り5周で#51カップシリーズドライバーのKyle Bush、#24 Justin Haleyと激しい3位争いをするまで順位を回復させた。ターン1、2ではブレット、ターン3、4では#51、#24のマシンが速く、順位を入れ替えながら激しいバトルを繰り返したが、残り3周目のターン4で僅かに右フロント部分が#24に接触、クラッシュは免れたが、その影響で3位争いから後退することになり、ブレットはそのまま4位でフィニッシュした。ピット戦略が合わず一時は22位に後退したが、その後の粘り強い走りで、今季4回目のトップ5フィニッシュ、総合ランキングは3位にアップした。

チーム代表：服部 茂章

今月の3連戦ではこれまで速いマシンに仕上がっていながらも、クラッシュに巻き込まれたり、マシントラブルで上位で完走する事ができず、悔しい思いをしていました。今回のシャーロットでは練習で走り出してすぐにパンクに見舞われ、思ったように走行時間が取れず、レースには不安もありました。ただコースのレイアウトが第2戦で優勝したアトランタに似ているため、ここは優勝のチャンスがあると思っていましたが、やはりスタートするとマシンの状態は素晴らしく、今季初めてステージ1を制して多くのポイントを稼ぎました。その後ステージ2でも3位に入り最終ステージでの総合優勝に期待が掛かりましたが、ピットインのタイミングで上位のチームの戦略が分かれ、最終的には我々が取った戦略が裏目に出てしまい、優勝のチャンスを逃しました。しかしこれまでの2戦で多くのポイントを落としている為、チームも少し保守的な戦略を取ったことは理解できます。残り周回数が少ない中でトップ争いから22位まで順位が下がった時のドライバーの心理はよく分かりますが、そこから焦らずに順位を上げて行き上位で入賞する事が出来ました。レース戦略のミスはありましたが、それ以上に上位で戦えるだけの速いマシンに仕上げたチームと最後まで諦めずに戦ったドライバーの信頼関係の結果だと思います。

これでシリーズポイントも3位まで戻りましたので、来月の4連戦での2勝目に全力を尽くします。

レースの模様は「FOX Sports1」にて全米、カナダ、ラテンアメリカで5月18日20:30(東部時間)より生中継された。



HREは6月8日(金) テキサス州・Texas Motor Speedwayにて開催されるNASCAR Camping World Truck Series第8戦に参戦する。

IBARAKI TOYOPET

■本リリースに関するお問合せ先:

Vertex Sports 担当: 大戸 Tel: 03-5422-6600

Email: rohto@vertex-sp.com